

アストラムライン

2026 安全報告書



ごあいさつ

いつもアストラムラインをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社では、「輸送の安全性の確保」と「お客様へのサービスの向上」に努めることより、「豊かな社会づくりに貢献」することを経営理念として、日々の業務を行っております。

令和7年度につきましては、開業以来の「鉄道運転事故ゼロ」は継続することができましたが、令和8年1月には積雪により約3時間、令和8年2月には車両の検査不良により約1時間半の運転見合わせと運休が発生しました。ご利用の皆様には深くお詫び申し上げますとともに、再発防止策を講じるなど、社員一丸となって、安全で安定した輸送の確保と皆様からの信頼の回復に努めてまいります。

また、近年、頻発化・激甚化する自然災害への対応につきましても、現行のマニュアルや設備を見直すなど、環境の変化に応じた改善に取り組んでまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法に基づき、当社の令和7年度における安全輸送の取り組み等を皆様にご理解いただくために公表するものです。ご意見やご感想をお聞かせいただき、今後とも変わらぬご愛顧とご支援を賜りますようお願いいたします。

広島高速交通株式会社

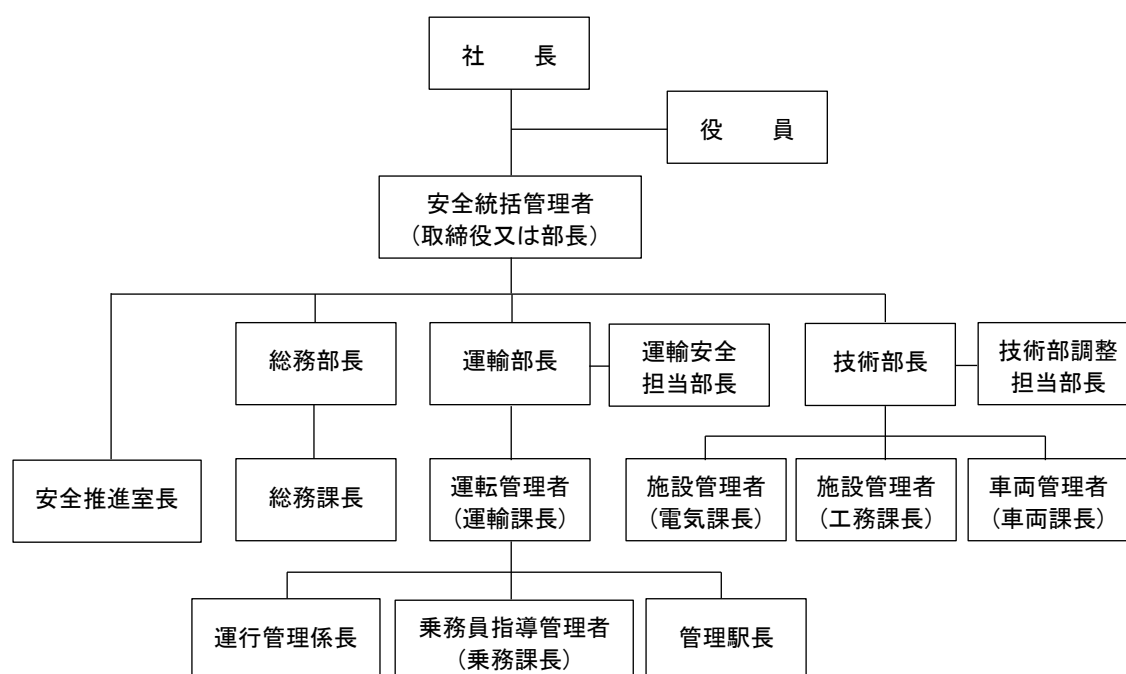
代表取締役社長 荒神原 政司

安全方針（安全に係る行動規範）

- （１）安全の確保は輸送の生命である。
- （２）規程の遵守は安全の基礎である。
- （３）執務の厳正は安全の要件である。
- （４）事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとる。
- （５）情報は漏れなく、迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
- （６）常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

○輸送の安全を確保するための基本方針として、職場への掲示と会議体での唱和を行うなど、安全意識の徹底を図っています。

安全管理体制



社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負います。
安 全 統 括 管 理 者	輸送の安全の確保に関する業務を統括します。
運 転 管 理 者	安全統括管理者の指揮のもと、運転及び事故防止に関する事項を統括します。
施 設 管 理 者	安全統括管理者の指揮のもと、施設及び災害防止に関する事項を統括します。
車 両 管 理 者	安全統括管理者の指揮のもと、車両に関する事項を統括します。
乗 務 員 指 導 管 理 者	運転管理者の指揮のもと、乗務係員の資質の保持に関する事項を管理します。
総 務 部 長	投資・予算・要員計画の検討に当たり、安全性及びその実現性の検証を行います。

○安全管理規程により、経営トップ、安全統括管理者及び各管理者の役割と責任等を定めて、安定した安全管理体制の構築に努めています。

事故等の発生状況

原因	令和7年度	令和6年度	令和5年度
鉄道運転事故	0件	0件	0件
インシデント	0件	0件	0件
輸送障害	2件	0件	0件

鉄道運転事故、インシデントの発生はありませんでしたが、輸送障害（30分以上の列車遅延、列車運休）については2件発生しました。

① 1月3日 … 降雪によるブラシ使用及び凍結による空転（運休36本）

→ 凍結防止剤の散布機器の改良とロードヒーターの増設を検討しています。

② 2月27日 … 車両パンタグラフの検査不良（運休17本）

→ 作業時のダブルチェック体制の強化と教育・指導の再徹底を行いました。

○ご利用のお客様には、ご迷惑をおかけしましたこと深くお詫びいたします。

安全目標と安全重点施策

○安全目標

事故・輸送障害・インシデントの発生ゼロ

○安全重点施策

災害発生時の対応力向上に係る取組みの強化

人材育成・技術の伝承に向けた計画の策定及び教育訓練の実施

コミュニケーションの確保

部門別安全重点施策

運輸課	・ 災害発生時における指令員の対応力向上 ・ 過去の経験を踏まえた若手指令員への技術の継承 ・ 他課との綿密な打合せによる安全な作業の実施
乗務課	・ 大規模災害等の発生時における対応力の向上 ・ コミュニケーションの活性化
管理駅	・ 災害発生時における駅の無人時間帯での対応の整備
電気課	・ 更新工事による、事故、輸送障害、インシデントの発生ゼロ ・ 小集団の教育訓練による人材の育成及び技術伝承 ・ 更新工事時に他課要望集約のためコミュニケーションの充実
工務課	・ 新入社員への教育訓練の実施 ・ 冬季積雪体制の改善
車両課	・ 7000系車両懸案事項定期打合せ ・ 車両整備心得の改正及び車両整備の見直し検討 ・ コミュニケーション確保

○安全目標達成に向けた課題を各部門の重点施策として取り組みました。

安全管理の取組み

○運輸安全マネジメント委員会

経営トップである社長が委員長となり、役員及び各管理者等を招集して四半期ごとに開催しており、各管理者からの報告を基に、各年度の安全輸送の取組みの評価を行うなどのマネジメントレビューを実施して、安全管理体制の継続的な改善を行っています。

○安全推進会議

安全統括管理者が議長となり、各部長及び各管理者等を招集して運輸安全マネジメント委員会の開催月以外に開催しており、運輸安全マネジメント委員会に報告する運転事故防止対策の協議や部門別安全重点施策の進捗状況の確認など、安全確保に向けた連携強化を図っています。

○運転事故防止対策会議

運転管理者が議長となり、各部門の指導担当を招集して四半期ごとに開催しており、期間中に発生した事故及び輸送障害等の原因の究明と有効な対策の検討を行い、ヒューマンエラー等の再発防止に努めています。

○内部監査

社内の内部監査員が、社長、安全統括管理者及び各部門の所属長へのインタビューを行い、安全確保に向けた取組み状況や今後の課題等の確認を行い、全社的な「気づき」の共有の場としても活用しています。

また、令和7年度は、内部監査員の資質の向上を図るため、新たな試みとして、運輸安全マネジメント委員会と安全推進会議の見学を実施しました。



安全確保のための設備投資

○安全関連設備投資

令和7年度は、駅務機器システム、駅受変電設備及び駅映像制御装置の取替えと車両予備部品代として2,139,338千円を充当しました。

○施設の保守

令和7年度は、運転保安設備、電車線設備及び軌道設備等の保守のため、線路保存費及び電路保存費として338,350千円を充当しました。

○車両の保守

令和7年度は、車両の全般検査、重要部検査、月検査及び列車検査を実施しており、部品交換や臨時修理を含めて車両保存費として227,529千円を充当しました。



安全確保に向けた取組み

○教育訓練

年間計画を定めて、異常時の対応を含めた各種教育訓練を実施しました。



二次災害防止訓練



保守作業車救援訓練



転てつ器手回し訓練



併結推進訓練

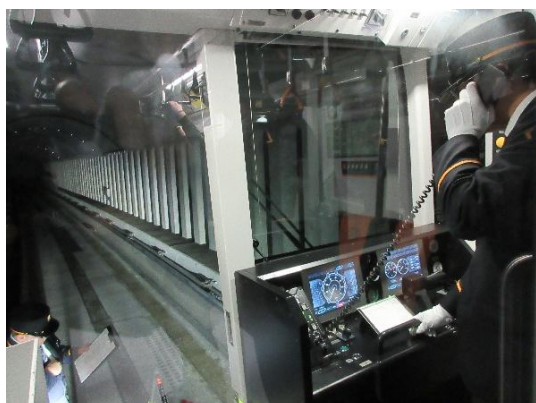
総合訓練

○地下区間における巨大地震発生時の避難誘導訓練

緊急地震速報（震度6弱の強震）と大津波警報により、地下区間の駅間（県庁前駅～城北駅）で停止した列車から最寄り駅（県庁前駅）まで、乗客（社員）を先頭車両の非常出口から走行路に誘導して、徒歩による避難訓練を行いました。

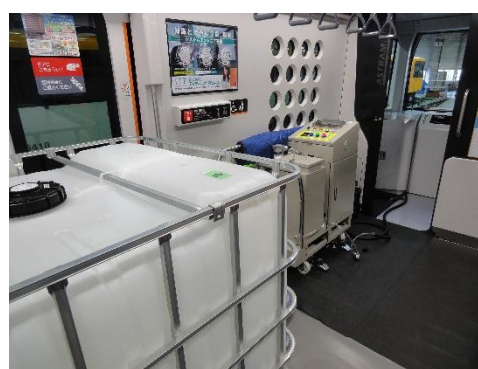
訓練では、乗務係員と駅係員を含めた参加者には、詳しい訓練内容を事前に知らせずに、地下走行路や駅舎内の照明を落とすなどして、想定外の事態においても自ら考えて行動する判断力の向上を図りました。

また、列車の停止場所から最寄り駅まで、回生電力貯蔵装置を使用した運転を行い、所要時間の確認なども実施しました。



積雪対策

積雪や凍結の気象予測によって、積雪前から回送列車に凍結防止剤を積み込んで走行路への散布を実施し、積雪があった場合は車両に取り付けている除雪ブラシを使用します。



職場巡視

年末年始の輸送等に関する安全総点検の期間中などには、社長、役員及び安全統括管理者の巡視を行い、安全確保に向けた意識の共有を図っています。



安全と安心のための設備【駅】

○ホームドア

ホームからの転落や列車との接触防止のために、開業から全駅に設置しています。



○非常列車停止装置とインターホン（ホーム）

異常時の緊急停止と係員の呼び出しのために、ホームに2箇所設置しています。



※インターホンは、駅窓口横と自動券売機横にも設置しています。

○AED（自動体外式除細動器）

心停止時の迅速な対応による救命率の向上を図るために、全駅に設置しています。



安全と安心のための設備【車内】

○非常通報器

列車内でのトラブルや急病人などが発生した場合に、乗務係員へ知らせていただくために、全車両に設置しています。



○防犯カメラ

事件やトラブル発生時の状況確認と犯罪や迷惑行為などの抑止のために、全車両に設置しています。



○消火器

火災発生時の初期消火による安全確保と火災の拡大防止のために、全車両と運転室に設置しています。



バリアフリーへの配慮

○優先席

お年寄りやお身体の不自由な方、妊婦の方などが、譲り合いにより安心してご利用いただけるように、全車両に設置しています。



○フリースペース

車椅子やベビーカーでご利用の方が、安全にご利用いただけるように、車椅子用は前と後の先頭車両、ベビーカー用は全ての車両に設置しています。



※補助席の使用方法（ベビーカー利用）



お客様とのコミュニケーション

○「お客様の声」の受付件数

令和7年度に皆様からお寄せいただいた「お客様の声」（お客様の声カード・メール等）は、373件（前年度437件）でした。

お客様からいただきましたご意見・ご要望は、貴重な情報として、今後の安全性やサービス向上の取組みの参考とさせていただきます。

区分	設備	お礼	商品	応対	マナー	その他	計
令和7年度	93	91	66	55	40	28	373
令和6年度	135	82	108	51	29	32	437
令和5年度	90	28	42	37	33	49	279

○対応事例

マナーの向上を図るため、広島電鉄・JR西日本・アストラムラインの3社が連携した「安心レールプロジェクト」を立ち上げ、3月には広島県警察本部にもご協力いただいて「みんなで防ごう！痴漢・盗撮」のキャンペーンを実施しました。



みなさまからのご意見をお寄せください

安全報告書のご感想、または安全への取り組みに関するご意見をお寄せください。

広島高速交通株式会社

TEL：082-830-3111 9:00-17:45（土日・祝日・年末年始を除く）

FAX：082-830-3114

公式ホームページ

<https://www.astramline.co.jp/inquiry/>



やさしさに明日がある

アストラムラインは今日も走ります。
何よりも大きな「安心」を乗せて…

ASTRAMLINE